



発行 東村山市 〒189-8501 東村山市本町1-2-3
編集 経営政策部秘書広報課

電話 042-393-5111(代表)
FAX 042-393-6846(代表)

ホームページ <http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/>
携帯電話用 <http://mobile.city.higashimurayama.lg.jp/>



第18回

「大好き東村山写真コンクール」受賞作品の紹介

東村山の出来事や催し、心温まる情景などを撮影した作品を9月から10月にかけて募集しました。応募があった74作品を審査し、受賞作品が決定しましたので審査員の講評とともにご紹介します。たくさんのご応募、ありがとうございました。※印刷の都合上明るさを調整しています。

最優秀賞



「元気だ、まちジャム！」(大善院)
上原 正行さん

優秀賞・写真家賞



「白狐躍動！」(八坂神社)
森田 実さん

優秀賞



「花摘み娘」(北山公園)
嵐田 尚吉さん

今年の最優秀賞、優秀賞、写真家賞は、すべて人物が主役となる作品が選ばれました。豊かな自然が残る心洗われる美しい風景は、東村山のよさとして写真に記録したい被写体です。さらにそこに暮らす人々の生き生きとした姿が捉えられれば、車の両輪のように「大好き東村山」が余すことなく表現されるのではないのでしょうか。

最優秀賞の「元気だ、まちジャム！」は、炎がまるで生き物のように勢いよく立ち上る瞬間の捉え方が絶妙で、その迫力が審査員の心に響きました。大善院の本堂とファイヤーダンスとジャンベ隊のミスマッチがワクワクしますね。

「白狐躍動！」は、優秀賞と写真家賞のダブル受賞です。お囃子が聞こえてくるようです。白狐の決めポーズをしっかりと撮ることができているので、お面はピタリと止まっています。一方、差し出した右手のブレ、後ろの獅子舞のブレが、舞の臨場感をアップさせています。

「花摘み娘」は、花摘み娘たちの配置と笑顔がよいです。菖蒲を楽しむ人々の賑わいも感じられます。欲をいえば、背後に写る人々の配置や動作にも気を配り、画面全体を隅々まで見てシャッターを押すと、さらにクオリティが上がります。

講評：宇井真紀子(写真家)

講評

「元気だ、まちジャム！」は、まさに決定的瞬間を捉えています。縦位置にしたのも画面に無駄がなく、後ろの人たちの表情もおもしろいです。かなり撮影に慣れていると思いました。

写真家賞も合わせて受賞された「白狐躍動！」は、獅子舞の微妙なブレから太鼓やお囃子の音が聞こえるようです。空の淡い青色と提灯の赤色の組み合わせが雰囲気を出しています。欲をいえば周辺の情報、例えばお神楽を囲む人たちが少しでも入っていると、さらに臨場感を感じられたのではないのでしょうか。正福寺の千体地蔵を綺麗な光線で捉え、東村山市長賞に選ばれた「千の祈り」も素晴らしかったです。

「花摘み娘」は、花摘みの三人の女性たちの衣装の色が菖蒲の花にも負けず鮮烈です。ただ、三人の表情の組み合わせをもっと狙って欲しかったです。背景も考えてスッキリさせた方がさらに画面が締まったと思います。

今はスマートフォンが普及し、誰もがカメラを持ち歩く時代です。全体的な感想として、アマチュアならではの斬新で伸び伸びとした作品がもっとあってもよかったのかなと思いました。

講評：片野田 斉(写真家)

各審査員賞は8面に掲載しています。